

埼臨技 だより

発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

第43回 埼玉県医学検査学会だより

【学術部】

第43回埼玉県医学検査学会の実行委員として活動し、あっという間に9月・・・。月を追うごとに活発になり、着々と準備が進められています。

時が過ぎるのは本当に早いとつくづく感じます。

私が、今学会の実行委員として活動することが出来たのも、色々な「つ・な・が・り(る)」あつてのことだと思っております。その「つ・な・が・る」がサブテーマとなった今回の研究班セミナー！！今回は「Skill up Project」と題しましたが、この「Skill up Project 1」にて、チーム医療として臨床検査技師の求められている課題を発見！そして、それを今後に生かしていただき、「Skill up Project 2」で採血に関する知識を蓄え、事故防止、患者満足度を向上してもらい、「Skill up Project 3」でピットフォール症例を学び、更なる飛躍に繋がればと思います。

全ての内容を聞いていただきたいところなのですが、時間帯は一緒であるため各施設から沢山参加していただき、施設内でも、この内容について「つ・な・が・り(る)」を広げて頂けたら「実行委員一同」嬉しい限りです。

(文責：原 誠則)

【運営部】

なんと、過去最高の160演題越え！！演題登録していただいた会員の皆さま、大変ありがとうございました。演題数の多さに実行委員一同、うれしい悲鳴を越え、雄叫びがでそうなくらい力が入っております。



さて、運営部の仕事の一つに広報活動があります。埼玉県臨床検査技師会が公益法人となり初の学会です。「一般参加者多数!!」を目標に掲げ、市民公開講演の学会ポスターを作成しました。学会ポスターは来月の埼玉臨技だよりと一緒に皆さまのご施設へ届く予定です。その際は是非、病院の患者様が目にするといいところ、ご施設の目立つところへの掲示をお願いします。



市民公開講演は埼玉医科大学・和合教授による講演「未病改善に役立つ音楽療法～健康寿命の延長を目指して～」です。昨今、健康寿命が注目されています。是非、音楽療法によるセラピーを感じ未病改善に役立てていただきたいと思います。その後、県立大宮高校による素晴らしい吹奏楽演奏があります。今年は例年に無く、聴き惚れる市民公開講演だと思っております。

また、広報活動においては会員の皆様にお力をお借りしたいと考えております。身近な方で結構ですので「こんな講演あるよ！演奏も聴けるよ！もちろん無料だよ!!」とお声をお掛けください。勿論、一般の方だけでなく多くの会員の皆さまのご参加を実行委員一同お待ちしております。

(文責：木暮憲幸)



各研究班の研修会報告を致します。

テーマ **肝繊維化マーカー・アトピー性皮膚炎マーカーについて学びましょう。**

主催 血清検査研究班

実施日時：平成26年 7月18日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ905号室 点数：専門教科ー20点

講演 1：新たな肝繊維化マーカーM2BPGiについて

講師：迫 信一（シスメックス株式会社）

講演 2：アトピー性皮膚炎の血清マーカー（TARC）について

講師：金井 弘（シスメックス株式会社）

参加人数：会員28名 賛助会員 7名

出席した研究班班員：庄司和春 佐野悦子 相坂由里子 大島まり子 持田和紀

研修内容・感想など

今回は、肝繊維化マーカーであるM2BPGiについての講演が行われた。B型やC型肝炎ウイルス感染、アルコール、非アルコール性脂肪性肝炎などによって肝臓に傷が生じる。その傷を修復する時にできる繊維が増加して肝臓全体に拡がった状態が肝硬変である。肝硬変になると、肝臓が硬いために起こる腹水や食道静脈瘤と、肝臓機能が低下するめに起こる肝性脳症や黄疸が問題となる。また、肝細胞癌は約70%に肝硬変を併発しているという報告もある。既存の肝繊維化評価方法として肝生検、血液検査（血小板数、ヒアルロン酸、IV型コラーゲン7S等）、超音波検査等があるが、肝生検は侵襲的で通常入院が必要で、サンプリングの位置によってはうまく繊維化部分を採取出来ない、何度も頻回に行うことが出来ない等の欠点がある。また、

上記の各血液検査では肝繊維化が進行すると血小板数は低下するが、各種血液疾患においても血小板数が低下すること、肝繊維化が進行するとヒアルロン酸が増加するが、食事、運動、関節リウマチなどの疾患によってもヒアルロン酸が変動すること、IV型コラーゲン7Sは肝繊維化が進行すると増加するが糖尿病性腎症などの腎疾患でも変動してしまうなど測定値に影響を受ける要因があり、特異性に欠ける場合がある。画像検査のフィブロスキャンやRTEでは肥満の場合、肝繊維化を過大評価する等の欠点がある。このため、臓器特異性があり、肝繊維化進展の診断能が高い指標が模索されている。HISCL M2BPGi試薬は、産官学の共同プロジェクトによって開発された、肝繊維化進展の診断補助を目的とした肝繊維化マーカーであり、肝繊維化ステージを反映し、肝癌のリスク評価や治療効果判定等の可能性を有し、現在進行形で数々の研究が行われている。

次に、アトピー性皮膚炎の血清マーカー（TARC）についての講演が行われた。TARCはThymus and Activation-Regulated Chemokineの略である。アトピー性皮膚炎の重症度評価基準の一つとして、アトピー性皮膚炎治療ガイドライン2001があるが、評価の客観性や日常診療で使用するには手間がかかり過ぎる等の問題点がある。アトピー性皮膚炎とTARCには高い相関性があることが確認されているが、TARCは外注検査のため、診察前検査には適応されていないのが現状である。今回、発売されたHISCL TARCは反応時間が20分以内であり、診察前検査として使用可能であるため、測定結果をもとにステロイド薬を適切に選択可能となる可能性がある。また、TARCは重症薬疹の診断にも有用と考えられている。保険承認（検体検査実施料194点）されており、今後、日常検査として注目される項目と考えられる。

（文責：齊藤雅一）

テーマ 異常反応への対応

講演 1：輸血に関するトピックス

講演 2：血液製剤供給課の現状

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成26年 7月25日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ601号室 点数：基礎教科－20点

講師：講演 1：西岡 純子（埼玉県赤十字血液センター 学術課）

講演 2：武井 淳（埼玉県赤十字血液センター 供給課）

参加人数：会員46名 賛助会員 1名

出席した研究班班員：渡邊一儀 今井厚子 神戸考裕 長谷川卓也 洞庭敬子 齋藤翔子

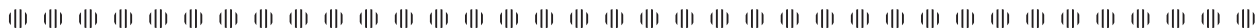
黒田果織 佐藤祥子

研修内容・感想など

今回の研修会は、血液製剤の最新の情報と現状を知るために血液センターの方を招き講演をしていただいた。講演 1は血液事業に関するトピックスとして、最近ニュースにもなった輸血によるHIV感染事例や、副作用に関して講演していただいた。感染症検査は、今までプールNATによる検査が行われてきたが、HIV感染を期に個別NATの導入が決まった。リスクを100%なくすることはできないが、少しでもより安全な製剤供給になると考えられる。副作用に関しては輸血関連循環過負荷（TACO）の病態等をお話いただき、更に埼玉県における副作用報告状況を示していただいた。副作用の報告は、報告基準を満たした上での的確に報告される必要がある。各医療機関としても報告体制を今一度確認する必要があると考えられた。講演 2は血液製剤供給の現状として供給課による製剤の在庫管理方法や供給エリア体制等を講演いただいた。血液センターはブロック化しており埼玉製造所では6県分の製剤を管理していて赤血球製剤は平日約3日分の在庫数を有している。血小板製剤に関しては予約状況や当日予約によって必要在庫量に変化するため、予約に応じて適正在庫も変化をしているとのことだった。配送に関しては午前午後の定期便に加え、緊急便と時間指定便があるが時間指定便が一日約50件あり、限

られた配送車と人員で対応しているとのことだった。我々医療機関にとって血液製剤の安定供給は無くてはならないものであり、特に緊急時には血液センターとの密な連携が不可欠である。そのため、医療機関と血液センター双方の理解と協力体制をより強固なものなるように、このような研修会を今後も開催する必要があると考えられた。

(文責：渡邊一儀)



自然災害による被災会員に対するお見舞い金申請手続き等について

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会では、自然災害による被災会員には、「災害共済金の支給及び会費減免に関する細則」によりその措置を定めております。

自然災害で被災され、この規程の条項に該当する会員がおられましたら、「届出用紙」に必要事項を記入のうえ、埼臨技事務所へ提出をお願いいたします。

「届出用紙」は埼臨技ホームページより、ダウンロードできます。

平成26年度

公益社団法人埼玉県臨床検査技師会

第6回 理事会議事録

日 時：平成26年 8月 8日(金) 18時30分より

場 所：埼玉メディカルセンター

さいたま市浦和区北浦和 4-9-3

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 島村 矢作 小山
奈良 猪浦 長岡 伊藤 松岡
小島 濱本 藤井 長澤 武関
野瀬 神嶋

(監事)遠藤 細谷

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は17名で、現在数20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(平成26年7月10日～平成26年8月8日)

7月12日(土)茨城県公益移行式典・祝賀会：

津田、神山、島村、岡田

7月13日(日)関東甲信支部幹事会、1都8県会長会議：津田、神山

7月14日(月)三役メール会議：

津田、神山、島村、岡田、矢作

7月15日(火)第43回埼玉県医学検査学会第10回実行委員会：岡田、小島、長岡

7月17日(木)第3回事務所改装検討委員会：津田、神山、島村、小山、松岡、小島

7月22日(火)第43回埼玉県医学検査学会第11回(臨時)実行委員会：岡田、小島、長岡

7月28日(月)第1回ホームページ委員会：島村、矢作、小山、奈良、濱本

7月29日(火)第4回事務所改装検討委員会：津田、神山、矢作

8月 7日(木)埼玉県医師会精度管理委員会：神山、山口、猪浦、野瀬

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 7月10日、第5回理事会は台風の影響により中止した。

2) 7月14日、第5回理事会検討議案について三役メール会議にて承認した。

3) 7月17日、29日に、第3回及び第4回事務所改装検討委員会を開催した。

- 4) 第25回生物試料分析科学会年次学術集会における名義後援を行った。
- 5) 埼玉県臨床検査精度管理専門委員より川越市臨床検査精度管理専門委員について、神山清志、藤野真治、荻野毅史氏の3名が委嘱された。
- 6) 埼玉県医師会より精度管理委員の委嘱があった。
- 7) 第43回埼玉県医学検査学会の名義後援依頼に関し、埼玉県、さいたま市、埼玉県医師会、看護協会、じほう、より承諾書が届いた。
- 8) 認定病理検査技師制度における推薦について
- 9) 公衆衛生事業功労者表彰推薦について
- 10) 埼臨技事務所夏季休暇について
期 間：8月11日(月)から15日(金)
- 2 総務部
 - 1) 7月28日、第1回ホームページ委員会を開催した。
 - 2) 「埼臨技だより」第423号、8月15日発行予定
 - 3) 7月14日、ロゴマーク商標出願完了の連絡を受けた。
- 3 事業部
 - 1) 関甲信支部・首都圏支部人材育成研修会について
日 時：平成27年2月7日(土)
会 場：ラフレさいたま
 - 2) 全国検査と健康展について
 - 3) 検査室運営研修会について
- 4 学術部
 - 1) 7月15日、埼臨技会誌第61巻1号(Vol.61 No.1 2014)を発行した。
 - 2) 第51回日臨技関甲信支部医学検査学会よりバーコードリーダー借用願について
- 5 精度保証部
- 6 会計部
 - 1) 平成26年度会費32名分160,000円、入会金32名分32,000円、合計192,000円の入金があった。
 - 2) 平成26年度生涯教育助成金50,000円×3勉強会、42,500×1 合計¥192,500円の入金があった。
 - 3) だより第422号印刷代147,390円、埼臨技会誌Vol.61 NO.1印刷代 714,000円、埼臨技名簿印刷代 460,000円、消費税105,711円、合計1,427,101円を石井印刷に支払った。
- 7 精度管理委員会
- 8 一都八県会長会議

9 日臨技関甲信支部

10 第43回埼玉県医学検査学会

- 1) 7月15日、第10回実行委員会を開催した。
- 1) 7月22日、第11回(臨時)実行委員会を開催した。

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(会費納入済)(平成26年度分)
会員数 2,420名
(新入会員 159名[平成25年度会員数2,306名])
賛助会員 62社[平成25年度 72社]
平成26年8月1日現在
- 2) 埼臨技だより発行部数の増刷について

2 総務部

- 1) 埼臨技60周年記念誌原稿執筆依頼状及び割り振りについて

3 事業部

4 学術部

- 1) 輸血検査研究班よりアンケート調査実施願について

5 精度保証部

6 会計部

- 1) 各部、各委員会への通帳配布について
- 2) 予算委員会委員の増員について

IV. 議題

- 1 2017年日臨技全国学会の担当県について
標記の件について、津田会長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、理事全員の意見を踏まえ、現時点では立候補しないことを、出席理事全会一致で承認した。
- 2 「地域ニューリーダー育成講習会」の受講申請及び推薦について
標記の件について、津田会長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、人選に関しては三役・常務理事に一任することを、出席理事全会一致で承認した。
- 3 五内川里子元会長の名誉会員推薦について
標記の件について、津田会長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

○株式会社ピーシーエルジャパン 病理・細胞診センター

採用条件：正職員 臨時職員

連絡先：049-234-7310

総務部 採用担当 古田島

○越谷市立病院

採用条件：臨時職員

連絡先：048-965-2221 内線 2313

事務（庶務課）白石

○医療法人社団 七福会 ホリイマームクリニック さいたま

採用条件：正職員

連絡先：03-5749-5881

ホリイマームクリニック 旗の台

総務担当 ヌノメ

○大宮レディスクリニック

採用条件：正職員 臨時職員

連絡先：048-648-1657

事務長 出居

○医療法人 一成会 さいたま記念病院

採用条件：期間限定(1~1.5年)のフルタイムパート

連絡先：048-686-3111 内線 631

検査科 加賀谷

○医療法人 藤和会 藤間病院

採用条件：正職員 臨時職員

連絡先：048-552-0600 佐藤優一

○川口市立医療センター

採用条件：臨時職員

連絡先：048-287-2525 庶務課 漆山

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

平成26年度 第1回検査室運営研修会の会場変更について

9月30日(火) 18:45より開催します標記研修会について会場が変更となりましたのでお知らせします。
大宮ソニックシティ 906号室 → 大宮ソニックシティ国際会議室（ホール棟4階）

あ と が き

前回に続き、高校野球の話題です。暑い日が続く中、初日から文字通り熱戦が繰り広げられました全国高校野球選手権大会いわゆる夏の甲子園大会ですが、この原稿を書いている前日に決勝戦がおこなわれ大阪桐蔭高等学校が優勝しました。選手インタビューを聞いたところ昨秋には悔しいコールド負けを喫し、そこから練習を重ねた末の優勝ということで喜びもひとしおかと思えます。

我が家の三男も現在高校2年生で野球部に所属しています。残念ながら埼玉県予選にて敗れてしまい、先日お疲れ様を兼ねた懇親会が開催されました。その会話の中で、選手が練習で疲れた中、身体を大きく丈夫にするために食事もしっかり頑張っていたという話をされていました。食べたい、飲みたいという欲求の中で摂る食事は、美味しく楽しいものですが、その欲求を満たされた上での摂取は、ある意味厳しい練習よりもつらいと聞きます。適正カロリー以上の飲食でメタボな自分が非常に恥ずかしい・・・

選手のみなさん、毎日のお弁当作り、洗濯、応援と陰ながら支えてこられた家族のみなさんご苦労さまでした。私たちも同じですが、周囲の方への感謝の気持ちを忘れずにこれからの人生を歩んでいってほしいと思います。

(長岡 記)

